

責任が
次代を
ひらく

自民党
市会
議員

関勝則
せきかつのり



LINE



HP

市政レポート 2024年10月号《vol:219》 編集/発行 市会議員 関勝則政務調査事務所 横浜市磯子区中原2-1-20-102

横浜の新たな成長戦略

「宇宙産業」の可能性

自民党横浜市支部連合会は、昨年の地方選において「2023よこはま自民党政策集(公約)」を掲げ、その政策の中で宇宙ビジネスの集積や子供の宇宙への夢を育む拠点づくりに取り組むとしました。

9月上旬に「新たな都市活力推進特別委員会」に所属する自民党議員らと北海道大樹町で北海道スペースポートの管理・運営を進めているSPACE COTAN株式会社の代表とお会いし、宇宙産業の可能性について意見交換を行ってきました。

—北海道スペースポートとは—

垂直型/水平型/気球などの多様なロケット打上げに対応できる国内外の誰もが利用できる商業宇宙港。その一部は1995年から稼働を開始し、これまでJAXAをはじめとする多くの企業や大学等による航空宇宙に関する研究・実験が数多く行われており、近年では、ロケットの他にもドローン/無人飛行機/空飛ぶクルマ等の実験も行われ、国内3か所目のロケット射場として2度の打上げに成功しています。



北海道スペースポートの将来イメージ

—SPACE COTAN(スペースコタン)株式会社では—

アジア初の民間にひらかれた商業宇宙港「北海道スペースポート」を管理・運営し、宇宙産業のインフラとして整備を進め、ロケットの打上げや宇宙関連のビジネス創出事業や宇宙のまちづくり事業に取り組んでいます。



整備中の射場LC1 *SPACE COTAN(株)提供

—宇宙産業の可能性—

- 宇宙データ・技術利活用(人工衛星からのデータや各種宇宙技術を利用したビジネス等)
 - ◆衛星データの販売◆衛星データ処理・解析により得られる情報◆ソリューションの提供◆衛星通信サービス。
- 宇宙旅行・滞在・移住(宇宙に行く、または滞在を目的としたビジネス等)◆宇宙旅行(エンタメ)の企画・運営◆宇宙ホテルの設計・開発・運営◆関連する衣食住事業。
- 探査・資源開発(地球周辺・周回軌道以外の宇宙空間で行われるビジネス等)◆宇宙探査機・探査車の開発・製造◆月や火星における基地やインフラの企画・設計・運営。
- 宇宙輸送(宇宙空間に人や物を輸送するビジネス等)◆大小型ロケット、宇宙船の開発・製造◆人工衛星や有人の打上げサービス。
- 人工衛星サービス(宇宙に人工衛星のインフラを構築・運用するビジネス等)◆静止衛星の開発、製造◆多数の人工衛星を一体的に機能させるシステムの開発、製造、配備/地上の設備や端末。
- 軌道上サービス(地球周辺・周回軌道など宇宙空間の人口物に対するビジネス等)◆衛星の寿命延長◆宇宙空間での研究開発や製造◆デブリ(宇宙空間で制御不能になった人工物)除去。

世界の宇宙産業の市場規模は、2020年に40兆円を超え、2030年65兆円、2040年には110兆円規模になるといわれています。そして新たな産業や目的に合わせた宇宙輸送(衛星打上げ等)のニーズの高まりによってロケット発射場(宇宙港)の重要性が高まることが予想されます。宇宙産業のすそ野は広く、関連企業の誘致を進めることは横浜の新たな成長戦略につながるものと考えますので、引き続き検討を進めて参ります。

—はまぎんこども宇宙科学館—



一方で、公約に掲げた「子供の宇宙への夢を育む拠点づくり」についても積極的に進めて参りますが、磯子区にはすでに「こども宇宙科学館」が40年前から整備され休日には多くの子供や家族連れで賑わっています。

こうした既存の施設の活用も視野に子供たちの夢の実現や探求心を育む取組を進めて参ります。

所在地：横浜市磯子区洋光台5-2-1 ※JR洋光台駅より徒歩3分

入館料：大人400円 小中学生200円 ※プラネタリウム入場料は別途

◎1Fにあるプラネタリウムでは世界最多の星を映し出す投影機を導入し、2～5Fには宇宙を体感できるトレーニング室や研究室が整備され、定期的に研究者による講義も行われています。